



Les Clefs d'Or Japan

レ・クレドール ジャパン 会報誌 “キー・ニュース”

Key News



2014年8月 第8号

レ・クレドール 第9回アジアンコンgres 特別編集号

来年8月下旬に開催される、レ・クレドール 第9回アジアンコンgresに向けて、レ・クレドール ジャパンメンバーは日本コンシェルジュ協会メンバーと共に一丸となって準備を進めております。開催まで約一年となり、今号は特別号として、これまでの準備状況をお届けいたします。

1. コンgres概要

アジアンコンgresは隔年に開催されるレ・クレドールの公式イベントです。アジア諸国・地域のコンシェルジュを中心に国内参加者を含め総勢 250 名の参加を見込んでおります。コンgresの目的は、参加者同士が交流を深め、日常業務能力の向上を目指し、また、開催国の実情を知り、文化を体験、習得することで、各国の観光業発展に貢献できるよう、正しい相互理解を深めること、などです。次開催の第9回は初の日本開催です。コンgres期間は2015年8月24日より27日までの4日間で、主会場は、ザ・プリンスパークタワー東京です。

2. コンgresスケジュール

- 初日(8月24日)
 終日 大会参加者到着
 14時 アジア諸国・地域プレジデントミーティング
 19時 ウェルカムレセプション@ザ・プリンスパークタワー東京
- 二日目(8月25日)
 9時 基調講演～アジアンホスピタリティの未来～
 11時 シンポジウム～旅館・和食・地元民・地域文化～
 14時 都内視察
 18時 日本文化体験
 20時 “夏祭り”ディナー@八芳園
- 三日目(8月26日)
 9時 アジア諸国地域プレゼンテーション～ホスピタリティ～
 11時 ショウケース～日本のウイスキー・宴会最新技術など～
 14時 自由時間
 17時 都内視察～車窓より～
 19時 ガラディナー@パレスホテル東京
- 四日目(8月27日)
 終日 大会参加者出発

初日の夜は、参加者各自は友人との再会を懐かしみ、積もる話に花を咲かせることと思われます。

二日目はいよいよ本格的な学習プログラムが始まります。基調講演では、ビジット・ジャパン大使も務めていらっしゃる妙心寺退蔵院副住職の松山大耕様が登壇くださいます。

続いての講演は、石川県山中温泉の高級宿「かよう亭」の竹内総支配人が登壇くださいます。木細工制作も行われる予定で、視覚的にも参加者に楽しんでもらう予定です。

午後は、屋根がないスカイバスにて浅草散策から始まり、新宿、原宿、表参道、渋谷を巡り夕食会場の八芳園へ向かいます。同会場ではまず、日本文化体験を予定しています。例えば、茶道、書道、折り紙、伝統工芸制作見学などです。その後、夏祭り風ディナーbuffetを予定しており、最後は参加者全員で盆踊りを企画しています。

三日目は各国地域からのホスピタリティに関するプレゼンテーションから始まります。

ショウケースでは、日本が誇るウイスキーと宴会最新技術などを紹介いたします。

短い自由時間を挟んで、コンgresを締めくくるガラディナー会場へバスにて出発いたします。途中、銀座、丸の内、皇居を車窓より楽しみながらパレスホテル東京に向かいます。ガラディナーは、招待客も含め 350 名近くがそれぞれタキシードやドレスに身を包み、最後の夜に別れを惜しんで、再会を誓い華やかな終焉を迎えます。



(上の写真は、同コンgresの組織委員会の集合写真です。)

3. “夏祭り”ディナー会場下見
 去る、7月16日に八芳園にて第9回アジアンコンgres組織委員会会合が開かれました。その席にて、会場の下見も行われ、各自当日の状況を想像し、思いを膨らませました(写真右)。



4. 夏祭りディナー予行演習
 同日、日本コンシェルジュ協会定例情報交換会が催され、“夏祭り”ディナーを想定した内容にて行われました。庭園には、他にもあまり見ない移動式のお茶室が設置されました(写真下左)。夜間はライトアップされ、近未来的な雰囲気です。



会場に隣接する庭には、こちらもライトアップが近未来感を演出しているかき氷露店が設置されました(写真上下)。どちらもまだ正式にアジアンコンgresにて提供されることが決まっているわけではないですが、八芳園の意気込みが充分に感じられ、大会二日目の夜がますます楽しみになりました。(浜崎統)

新規入会

コンラッド東京のアシスタントチーフコンシェルジュである齋藤美紀氏が国際準会員として承認されました(写真下)。森ビルシティエアサービス株式会社が賛助会員として承認されました。

8月1日現在、レ・クレドール ジャパンは名誉会員2名、国際正会員15名、国際準会員12名、賛助会員12社で活動をいたしております。

